



砂留文化を次世代へ繋ごう



2021(令和3)年4月29日 堂々川ホタル同好会情報紙 2020年度第12号 (創刊より196号)

1. 4月18日、4月の定例会で会員13人が21日、23日中条・御野小学校の約100名がやって来て球根を植栽する為の前作業穴掘りをしました。「彼岸花中国地方NO.1」の目標達成は目前です。又、昭和の時代に稼働していた足踏み水車を渡邊稔さんがこの場にあった水車イメージのモニュメントとして整備しており設置します
2. 今回の両小学校は学校から堂々川迄ごみを拾いながら往復しました。*素晴らしい
3. 3月27日以降ホタルは雨の夜毎上陸し5番川原は28日夜9時まで約50匹確認
4. 福山大学の学生が堂々川の環境調査、生き物調査をしますので応援しましょう!
5. 相変わらず猪の被害は多いが、ピンクリボンと竹酢入り手作りリボン、光で対策中
6. 堂々川の4月はソメイヨシノ・八重桜、ツツジ、フジが咲き、綺麗でした。



一番砂留東に集合の会員 13人



1番砂留東広場に穴を開ける会員



昭和の時代の水車を整備



中条小 30人強が球根植栽 800球



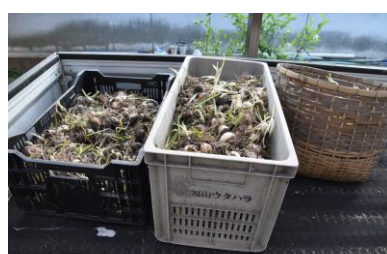
御野小 60名強 球根植栽 2000球



皆が帰った後会員が補植等をする



4月12日夜 5番川原を上陸



上竹田梶原さん会員渡邊さん球根寄付



猪被害の対策竹酢とピンクのリボン



7. 次回定例会 集合時間場所 5月16日 (日) 8時00分
作業内容 ごみ拾い・草刈り 砂留整備 桜などに追肥を施す
定例会はどなたでも参加できます。参加者は保険に入る為名簿にお名前を記入して!

8. 発行責任者 堂々川ホタル同好会 会長 土肥 徳之

堂々川ホタル同好会の歴史

2004年6月、現在の3代会長が堂々川の5番川原で下御領生産森林組合の理事さんとホタルを数匹見つけ、下流から幼虫の餌になるカワニナを獲りこの場へ放流したのが原点です。その後、ホタルが100匹ほど飛び始めた翌年4月8日、つまり2006年に会を設立し、発起人3人と参加者31人で設立総会を開き会長を和田敬三さんに依頼して活動を始めたのです。活動をする為には会員が一つの情報を持つことが必要だから、と会報1号「ホタル恋(来い)」を5月に発行したのが現在196号まで続き、15年間愛読していただいたことに感謝しています。

膨大な量の写真を参考に、今後数回にわたって堂々川ホタルの過去を振り返ってみます



2006年3月ラブグリーン登録



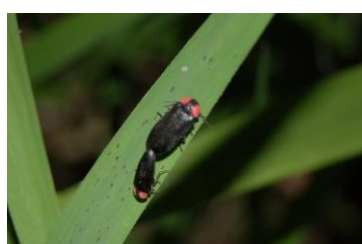
2006年4月 設立総会



最初の清掃 2006年5月



2006年6月の6番砂留



6月平家ボタルの繁殖



大臣表彰「ホタルレンジャー」

同好会は設立時から会員より会費を徴収しないルールと決めています。神辺町が福山市と合併したことが我々の資金源に繋がりました。例えば市が募集したキーワードモデル、100周年、福山ブランド等で冊子を発刊し、販売した利益を使うとか民間助成企業や財団に申請して活動資金を得たことがあげられます。又、皆様方ボランティアの力が大いに役立っています。同好会は以下の冊子を発刊しています。⑤を除きいずれも絶版です。

- ① ホタルについて
 - ② ホタルと環境について
 - ③ 堂々谷の生き物 (矢田さんと共著)
 - ④ 堂々川今昔
 - ⑤ 遺跡・古墳・砂留 (現在は他の会と共著)
 - ⑥ 神辺の砂留 (GCL 寄付者のみ)
- 寄稿 a ホタルのふやし方・写し方 (村上光正編) b ALPS 2018年7月号
- | | | | |
|-------|----------------------------|------------------------|-------|
| 大臣表彰等 | 環境大臣表彰 | ホタルレンジャー (表彰状は湯田公民館掲示) | 2007年 |
| | 広島県景観会議第16回最優秀賞 (表彰賞状行先不明) | | 2009年 |
| | 国土交通大臣 砂留の美 (表彰状御野公民館掲示) | | 2011年 |
| | 国土交通大臣感謝状 | みどりの感謝状 (同上) | 2014年 |
| | 環境大臣賞 | 環境保全功労賞 (同上) | 2015年 |

◎ 堂々川のホームページがスマホから見られます。QRコード⇒
アドレス dodogawa.com

